



Pick Up News 今号も大学院特集です。大学院は学部までの学びと大きく異なります。学部までの知識や技能を習得するため「勉強をする」という形から、自ら「学ぶ」という形に変わります。自身の興味・関心を深め、知識を深め、将来の目標をより明確にして、進路選択をするためのワンステップです。研究・設計活動を通じて、人間力をさらに高め、社会で求められる技術者・設計者・研究者に向かうための道でもあります。現在、建築学科の院進学率は他学科と比較する中でも最も高いですが、それでも15%程度。理工系大学での進学率30%程度と比較するとまだ低い状況にあります。社早から、進路の一つとして意識しておくともよいでしょう。大学院生の先輩や、教員に話を聞いてみるのもよいと思います。さて、後期も始まりました。それぞれ「充電」をして、大学に戻ってきたことと思います。後期は卒業・進級をかけた大切な時期でもあります。前期での学びを振り返り、これからの学びに活かして下さい。6-7号館の一部床が木質化（フローリング）されたのに気がついたことでしょうか。古い建物でも仕様を替えていくことで心地よい環境が創り出されることを実感できたのではないかと思います。10月は3連休もあります。大学祭もあります。秋の気持ちのよい気候を楽しみながら過ごしましょう。

大学院特集です。大学院生の声を通して大学の魅力を感じて下さい。

1. 大学院を志した理由
2. 進学を決めた時期
3. 大学院で学んでの感想下さい。
4. 学部生へのメッセージ

1. 私は普通高校を卒業しているため、建築士資格の受験条件を満たすために進学を決意していました。資格を持たずに就活をしても自分の望む職種につけない可能性が大きかったからです。
2. 進学すると決意した時と同時期に両親と話し合い、大学院進学を志していました。大学に入学する前から大学院に進学する自分をイメージし、学部生時代は課題に取り組んでいました。
3. 学部で習った事が前提となりつつも、より専門的に学ぶことでその分野についてより深く考えられるようになりました。さらに学部生の時よりも自分の考えを主張しやすいため考えに対して周りの意見が聞きやすい環境かと思いました。
4. 進学するかどうかは充分に考え両親と話し合っで決めるべきです。今すぐに就職しなくても大学院で実力を伸ばし考えを深めることで自分の望む職種につける可能性が高くなります。将来自分のしたいこと、成し遂げたいことがより明確にわかると思います。その夢を目標にして大学院進学が就職かを考え抜いてみてください。進学しても絶対に無駄な2年間にはならないはずです。（高畑翔）

1. 大学では学べない深さで学びたいと思ったから
2. 大学に入った時から
3. 学部時代よりも積極性が求められる
4. 将来の選択肢は多い方がいい（山田祐翔）

学部卒業後の進路として大学院の選択

1. 学部時代と就職の間となる役割で、仕事に就く前に少しでも多くの知識を取り入れ、自信を付けたうえで働きたいと考えたため。また、建築という学問に興味をもって進学した学生がほとんどであり、学部時代は吸収することがメインであるが、その知識を深める・分析するという研究ができる時間が取れるため。
2. 大学3年
3. 自分の時間が増え、やりたいことの多くができる。また、研究や建築に対して深めたいと思う同級生・先輩が多いため楽しく学問を深められている。
4. 学部時代を過ごしているのならば、建築に対する疑問・考えが出てくると思うので、よく将来を考えて自分が何をしたいのかを就職か進学かを決める際にはっきりさせ、その進路に向かって全力で走ってほしいです。（永塚 輝斗）

春季推薦は奨学金も得られます。進路の一つとして早めに意識するとよいでしょう。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識や技術をより身につけたかったのと、将来のことを考える時間が欲しかったからです。 2. 学部4年の春頃です。 3. 学部と比較して、自分の意見を発言する場が圧倒的に増えたと思います。 4. 大学院、社会人より時間があると思います。もう少しやりたい事を考える期間にするのも良いかもしれません。（高橋りお） | <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的な知識を身に付けて社会に出たいと考えた。給料面も考慮（学部のときに給料の上昇率が高いと聞いた）。 2. 2年後期 3. 修士1年では履修しなければならない講義が多い。就活を早く終わらして、研究に没頭したい。 4. 工大建築では、大学院に進学する割合が少ないため、周りに流されず、興味の分野を深めたい人は検討してみてほしい。（植松歩夢） |
|--|--|

1. 現在学んでいる分野をより深く学びたかったから
2. 大学2年の夏
3. 学部の時よりも少人数で講義を受けることができるので、フィードバックや質問等しやすい環境がとてもよかったです。
4. 就職だけでなく、進学も視野に入れてみるのもいいと思います。頑張ってください！（三浦涼馬）

Pick Up Lab. 新井研究室では、空き家活用の実践的研究に力を入れています。一つは2022年から取り組んでいる塩竈市内のシェアアトリエ本多工房です。リノベーション設計、各部屋の運用方法の検討、DIYなどに取り組みしました。現在は7名の若手アーティストが創作活動を行っています。もう一つは今年から空き家相談窓口を開設したところシェアハウスとして活用したいという依頼があり、現在リノベーションや事業スキームなどを検討しています。その他、ダイバーシティをテーマとしたファッションショーの空間デザインなど、ソーシャルデザインの実践を通して、これから求められるプレイスメイキングについて学んでいます。



シェアアトリエ本多工房のDIY・子どもたちにも参加してもらいました



シェアアトリエ本多工房でのアーティストさんの創作風景



4年 白藤大瑚 さん
多賀城高校 出身

Pick Up Student 私は現在、曹研究室のもとで建築におけるAIの活用について学んでおりその中でも画像生成AIをテーマに卒業論文の執筆を進めています。建設業界のAI普及率は年々増加しているものの活用事例は未だ少なく、またAIは負の側面を多く抱えているためそれらも学んだ上で後期はより一層研究活動に勤しみたいと思います。大学生活を振り返ると建築設計や就職活動等多くの苦労がありましたが、それらを経験したことで短期計画と長期計画の重要性を身にしみて痛感しました。そのおかげで4年生となった今遊び、研究室、遊び、資格勉強そして遊びと充実した日々を過ごすことができています。4月からは社会の一員となるので残りの大学生活も楽しく過ごしたいと思います。



1年 平田 彩花 さん
上智福岡高校 出身

Pick Up Student 入学して5ヶ月が経ちました。私は福岡県からこの大学に来ました。親元を離れ、慣れない土地での生活に不安を抱いていました。しかしオリエンテーションが充実しており友達も沢山できました。先生方も個性的で毎日の授業ではグループワークも多く、毎時間様々な同級生と話すことができるため、私にとっては東北各県の同級生の仲良くなり、文化の違いなどを味わいながら新鮮な毎日を送っています。一人暮らしにも慣れ、毎日の家事も楽しいです。毎日自炊をし、洗濯も掃除も自分で行うようになり、家族のありがたみを痛感します。自分自身この半年で格段に成長したと感じます。友達と学校に残って課題も行うのも楽しいです。後期は、特に成績向上とアルバイトを中心に頑張っていきたいです！